シラバス参照

タイトル「**2022年度危機管理学部(公開)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

科目ナンバー	RMGT3558		
科目名	国際テロリズム論		
担当教員	宮川　正		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火４		
講義室	1309	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門・危機管理		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード　学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関係 DP1-E　〔学識・専門技能〕　専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-I　〔理解力・分析力〕　文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■CRコード　学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（CR）との関連 C1　論理的思考・社会認識（30%） E1　学識と専門技能（30%） G1　状況把握（10%） I3　情報分析（30%）		
教員の実務経験	本校卒業後、航空自衛隊に入隊，以来４０年余り国の安全保障にかかわる業務に従事しました。その間，米国留学や防衛駐在官勤務（米国）を経験するとともに，実任務としても中東地域に滞在しました。本授業では各国で得た実務上の知見と経験を活かすと共に、特に米国滞在時に遭遇した9.11テロ及びその後のテロと戦う世界について言及し、グローバルな時代を生きていく学修者にとって必要な知識を還元していきます。(第２～14回)		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット　能力開発の目標ステージとの対応 ３　発展期～４　定着期		
科目概要・キーワード	現代におけるアルカイダ、イスラム国などの国際テロ・ネットワークの活動は、国際テロリズムが社会に与える影響力の大きさを浮き彫りにしました。２００１年の米国同時多発テロ事件以降の米国の「テロとの戦い」は、戦争の概念をそれまでの国家対国家の戦争から、国家対非国家への戦いへと大きく変えました。授業では、9.11テロの概要とその背景について、また、その後の国際テロ組織の概要と最近の動向について学修するとともに、テロリズムに対する国際的な対応について考察します。この際受講生は、テロ事件等を微視的な目で見るのではなく、それぞれの事象の背景・本質を幅広い視点で捉え、文明間、民族間に根付いている増悪について学びます。また、テロに遭わないための対策及びテロに遭遇した時の対処法について紹介します。 ■キーワード：国際テロリズム、９．１１テロ、テロとの戦い		
授業の趣旨	■副題：　国際テロリズムの潮流と各種組織の実態 ■授業の目的：　まず、国際法や歴史的経緯を踏まえ、テロの定義を確認していきます。そして世界を震撼させた９．１１同時多発テロについて確認し、何が起きたか、何が原因だったかを明らかにします。この際、教員の体験談についても紹介します。その後、注目される国際テロ組織の概要と最近の動向について学修し、自らが遭遇する可能性のある国際テロリズムに遭わないための対策と対処法について紹介します。本授業では、国際的なテロリズムという事象を通じて、その理解に止まらず、批判的思考も同時に身につけることを目的としています。 ■授業のポイント: テロの定義を確認し、国際テロリズムについての認識を深めることに重点を置きます。その上で現在注目される国際テロ組織の概要と最近の動向を踏まえ、自身が国際テロリズムに遭わないための対策と対処法について理解を深めます。		
総合到達目標	■全般を通じて国際テロ対策に必要な基本的知識から、より専門的に分析された注目すべきテロ組織の動向を学び、自分の身を守る技術を身に付けるために理論と実践を組み合わせてテロ事件への対策を実際に習得することができる。 ・国際テロの定義や国際テロ組織の動向を学び、テロ事件への対応能力を磨き決断力を身に付けることがで		

<table>
<tr><td></td><td>きる。（第1～５回）
・注目される国際テロ組織について述べることができる。（第６～１２回）
・テロに遭わないための対策及びテロに遭遇した時の対処法について説明することができる。（第１３～１５回）</td></tr>
<tr><td>成績評価方法</td><td>■リアクションペーパー、3回（60%）：適用ルーブリック C1、E1、I３
（評価の観点）授業の内容を踏まえ、自ら考え理解しようとすることができているかどうかを評価します。
（フィードバックの方法）次の回の授業において解説をします。
■まとめのテスト（又はまとめのレポート） 1回（40%）：適用ルーブリック C1、E1、G1、I３
（評価の観点）授業の内容について理解し、自らの言葉で説明することができているかを評価します。
（フィードバックの方法）提出後、解説を行います。</td></tr>
<tr><td>履修条件</td><td>特に履修条件を設けません。</td></tr>
<tr><td>履修上の注意点</td><td>国際的なテロは日本でも常に起こりうるという危機意識を持ち、グローバル化した世界情勢を正確に捉え、真剣にテロへ向かい合い対策を考えてもらいます。</td></tr>
<tr><td>授業内容</td><td>
<table>
<tr><th>回</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>①授業テーマ：授業ガイダンス
②授業概要：授業の構成、テーマ及び内容、スケジュール、評価の方法等について説明を行います。（Ｇ１）
③予習（１２０分）：シラバス全体をよく読んで、授業全体の構成について把握しておく。
④復習（１２０分）：授業全体の構成、授業の目的と到達目標を踏まえて、自らの学修計画を立てる。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>①授業テーマ：テロの定義、歴史、事件
②授業概要：テロの定義を確認し、歴史、事件について知識を深めることができる。（Ｃ１、E1、Ｉ３）
③予習（１２０分）国内の法律や関係機関によりテロがどのように定義されているかを調べておく。
④復習（１２０分）：授業の内容を踏まえ資料をまとめておく。</td></tr>
<tr><td>3</td><td>①授業テーマ：国際テロリズムとは
②授業概要：国際テロリズムについて認識を深めることができる。（Ｃ１、E1、Ｉ３）
③予習（１２０分）：国際テロリズムの定義について調べておく。（米国、日本等）
④復習（１２０分）：授業の内容を踏まえ資料をまとめておく。</td></tr>
<tr><td>4</td><td>①授業テーマ：米国同時多発テロ１
②授業概要：2001年9月11日米国同時多発テロの概要とそれへの対応について知識を深めることができる。　担当教員の実務経験を踏まえて説明します。（Ｃ１、E1、Ｉ３）
③予習（１２０分）：事案の概要について調べておく。
④復習（１２０分）：授業の内容を踏まえ資料をまとめておく。</td></tr>
<tr><td>5</td><td>①授業テーマ：米国同時多発テロ２
②授業概要：その後の状況と日本の対応について理解を深めることができる。
担当教員の実務経験を踏まえて説明します。（Ｃ１、E1、Ｉ３）
リアクションペーパー（第2～５回）を実施します。
③予習（１２０分）：日本の対応について調べておく。
④復習（１２０分）：授業の内容を踏まえ資料をまとめておく。</td></tr>
<tr><td>6</td><td>①授業テーマ：最近の国際テロリズム情勢
②授業概要：最近の国際テロリズム情勢について理解を深めることができる。（Ｃ１、E1、Ｉ３）
リアクションペーパーの解説をします。
③予習（１２０分）：『国際テロリズム要覧』2021、2022（公安調査庁）の概観及び第Ｉ部を読んでおく。
（http://www.moj.go.jp/psia/）
④復習（１２０分）：授業の内容を踏まえ資料をまとめておく。</td></tr>
<tr><td>7</td><td>①授業テーマ：イラク・レバントのイスラム国（ISIL)
②授業概要：注目される国際テロ組織の一つであるISILについて知識を深めることができる。（Ｃ１、E1、Ｉ３）
③予習（１２０分）：ISILに関する資料等を読んでおく。
④復習（１２０分）：授業の内容を踏まえ資料をまとめておく。</td></tr>
<tr><td>8</td><td>①授業テーマ：アルカイダ
②授業概要：注目される国際テロ組織の一つであるアルカイダについて知識を深めることができる。（Ｃ１、E1、Ｉ３）
③予習（１２０分）：アルカイダに関する資料等を読んでおく。
④復習（１２０分）：授業の内容を踏まえ資料をまとめておく。</td></tr>
<tr><td>9</td><td>①授業テーマ：タリバン
②授業概要：注目される国際テロ組織の一つであるタリバンについて知識を深めることができる。（Ｃ１、E1、Ｉ３）
③予習（１２０分）タリバンに関する資料等を読んでおく。
④復習（１２０分）：授業の内容を踏まえ資料をまとめておく。</td></tr>
<tr><td>10</td><td>①授業テーマ：その他の注目される国際テロ組織
②授業概要：その他の注目される国際テロ組織について知識を深めることができる。（Ｃ１、E1、Ｉ</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

		3） リアクションペーパー（第６～１０回）を実施します。 ③予習（１２０分）その他注目される国際テロ組織に関する資料等を読んでおく。 ④復習（１２０分）：授業の内容を踏まえ資料をまとめておく。
	11	①授業テーマ：日本の国際テロ組織 ②授業概要：日本の国際テロ組織であるオウム真理教について知識を深めることができる。（C１、E1、I３） リアクションペーパーの解説をします。 ③予習（１２０分）オウム真理教に関する資料等を読んでおく。 ④復習（１２０分）：授業の内容を踏まえ資料をまとめておく。
	12	①授業テーマ：主な邦人被害テロ事件 ②授業概要：これまで邦人が被害に遭った事案について知識を深めることができる。（C１、E1、I３） リアクションペーパー（第１１～１２回）を実施します。 ③予習（１２０分）：邦人等が被害に遭った事案に関する資料等を読んでおく。 ④復習（１２０分）：授業の内容を踏まえ資料をまとめておく。
	13	①授業テーマ：対テロ対策及び対処法１ ②授業概要：テロに遭わないための対策及びテロに遭遇した時の対処法について理解を深めることができる。（C１、E1、I３） リアクションペーパーの解説をします。 ③予習（１２０分）：テロに遭わないための対策にはどのようなことが考えられるか自分なりに考えておく。 ④復習（１２０分）：授業の内容を踏まえ資料をまとめておく。
	14	①授業テーマ：対テロ対策及び対処法２ ②授業概要：テロに遭わないための対策及びテロに遭遇した時の対処法について理解を深めることができる。（C１、E1、I３） ③予習（１２０分）テロに遭遇した時の対処法について自分なりに考えておく。 ④復習（１２０分）：授業の内容を踏まえ資料をまとめておく。
	15	①授業テーマ：国際テロリズム論のまとめ ②授業概要：これまでの授業内容をおさらいし、理解度をはかるためのテストを実施します。（まとめのレポートに変更する可能性があります）(G1) ③予習（１２０分）：授業で使用した資料、自らの講義ノートに目を通しておく。 ④復習（１２０分）：授業で使用した資料、自らの講義ノートをまとめておく。
関連科目		■「危機管理概論Ⅰ及びⅡ　RMGT 1301-1302」、「国際政治学　RMGT 3552」及び「国際法　RMGT 3451」、 「海外安全対策　RMGT3559」、「事故責任法制　RMGT3402」、「国際協力論　RMGT3560」、 「テロ対策論　RMGT3528」
教科書		授業資料は毎回指示します。
参考書・参考ＵＲＬ		公安調査庁HP：http://www.moj.go.jp/psia/　『国際テロリズム要覧』2021、2022 外務省HP：https:/www.mofa.go.jp/ 一般社団法人　海外邦人安全協会：http://www.josa.or.jp/
連絡先・オフィスアワー		■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 火曜２限。それ以外の時間については、メール等で事前にアポイントメントをとることにより研究室で対応します。
研究比率		■危機管理領域との対応 災害マネジメント10%：パブリックセキュリティ30%：グローバルセキュリティ30%：情報セキュリティ30% ■危機管理学と法学とのバランス 危機管理学９0%　：　法学１0%

戻る

Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.